

# モデルルート設定の経緯と各ルートの詳細

---

## ○モデルルートを設定し、「世界水準のサイクリング環境」構築のための施策や取組を試行の上、検討

### 「世界水準のサイクリング環境」

「世界標準：世界のサイクリストがみんな楽しめる（バリアフリー）」と、

「世界最高水準：世界的に見ても魅力的なサイクリングを楽しめる（北海道のポテンシャル活用）」に分けて考える（第1回委員会指摘）

#### 世界標準

➡ すべてのモデルルートが満たすべきもの

- 世界のサイクリストが安全かつ安心してサイクリングできる走行・受入環境が整っている

ルートの案内看板が設置されている、安全に走行できるための空間が確保されている（河川空間、自転車道、路面表示の活用）、休憩施設（トイレ）が一定間隔で存在し、サイクルラックや工具類が設置されている、ルート情報が提供されている（ITの活用） 等

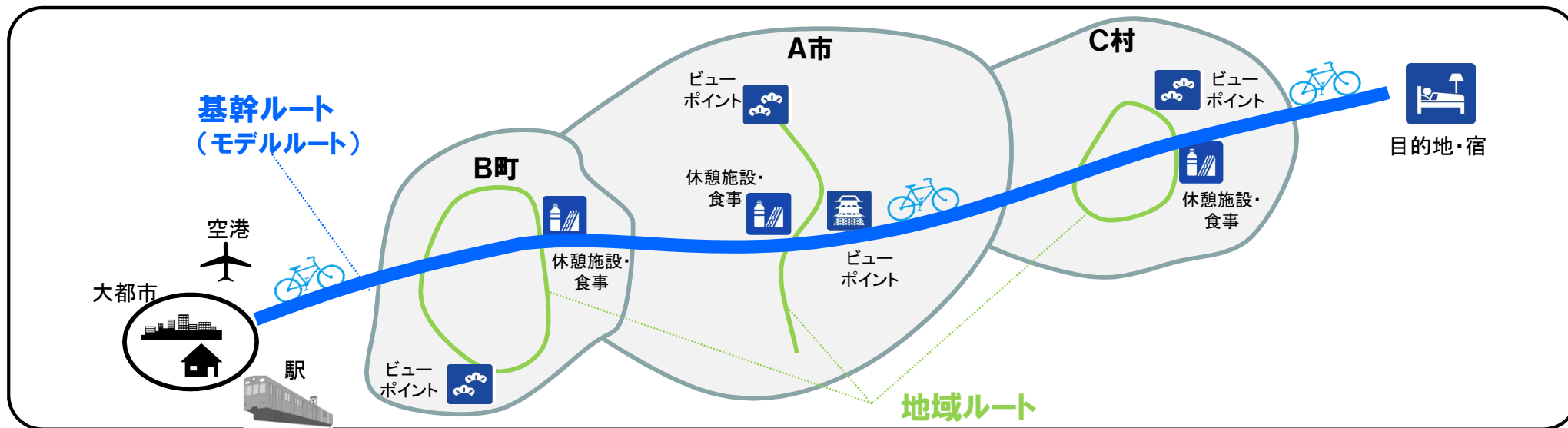
#### 世界最高水準（北海道のポテンシャル活用）

➡ 各モデルルート（地域）の特性を活かして磨いていくべきもの

- 豊かな自然環境や雄大な景観、食、冷涼な気候という、我が国を先導する北海道の優位性を活かした体験が可能  
”最北の地”を体験、ファームレストラン、他のアクティビティ（カヌー等）との複合 等
- サイクリストが満足する”サイクリストウェルカム”な地域が形成されている（ホスピタリティ）  
ウェルカム施設の目印（フラッグ）、農山漁村（生産空間）でも持続可能な休憩・宿泊環境（農泊や民泊等） 等
- ここ（北海道・各ルート）でしか味わえないことを世界にアピール  
海外からの招聘ツアー、サイクルイベント（見本市）でのPR 等

## ○モデルルートは、各ルートの骨格となる「基幹ルート」を設定

	基幹ルート(モデルルート)	地域ルート
特徴	市町村をまたぐような骨格となるサイクルルート	(基幹ルート周辺の)地域の短距離のサイクルルート
コンセプト	空港や駅、大都市と目的地を結び、安全・安心に移動できる(案内や休憩等施設が整っている)	基幹ルートから離れているビューポイントなど、隠れた地域資産を楽しめる



## ○試行を行う箇所(モデルルート)は、基幹ルートや試行の内容を踏まえ、下記を満たすように設定

- ① モデルルート試行への協力を得られる地域の活動主体が存在  
(受入環境の充実や情報発信のためのデータ収集、アンケートの実施等)
- ② 市町村をまたぐような、骨格となるルート(基幹ルート)であること

# H29年度に試行を実施したモデルルート





# モデルルートの詳細

## きた北海道ルート

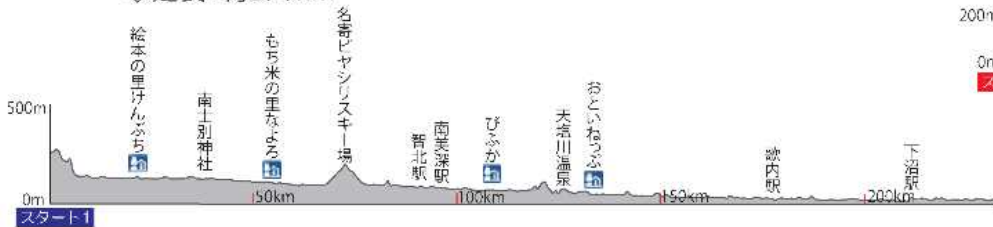


### ルートの特徴

北海道遺産の天塩川に併走し自然を肌を感じながら信号がほとんどなく、どこまでも続くかのようなまっすぐな道を堪能できるルート。

**ルート1** ◇ 起点: 和寒町 (将来的には旭川空港)  
終点: 宗谷岬  
◇ 延長: 約290km

**ルート2** ◇ 起点: 野塚展望台  
終点: 野塚展望台  
◇ 延長: 約60km





# モデルルートの詳細

## ■石狩川流域圏ルート

### 自転車で石狩川流域を結び 流域全体を活性化

石狩川流域の魅力的で豊富な地域資源（歴史・文化・食・自然・温泉など）を活かし、近年の国内・国外からのサイクリング観光者の増加を踏まえ、「自転車で石狩川流域を結び流域全体の活性化を図ること」を目的としたサイクリングルート

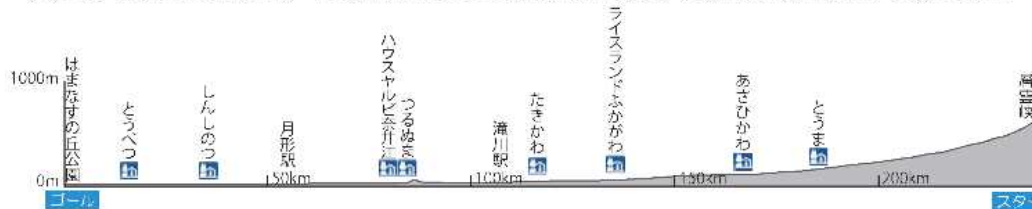


### ■ルートの特徴

石狩川本流をベースに、層雲峡から石狩川河口の河川敷で走行可能な箇所を積極的に活用したルートであり、北海道の空の玄関口である新千歳空港及び旭川空港からのアクセス性に優れている。

◇起点:層雲峡 終点:はまなすの丘公園

◇延長:約430km (基幹ルート:240km、旭川空港アクセス:20km、新千歳空港アクセス1:70km、新千歳空港アクセス2:100km)



凡例	
	基幹ルート
	旭川空港アクセス
	新千歳空港アクセス1
	新千歳空港アクセス2
	自動車専用道路
	一般国道
	主要道路・一般道路
	道の駅
	空港
	JR駅



# モデルルートの詳細

## ■阿寒・摩周・釧路湿原ルート

日本有数のサイクリングパラダイス  
“くしろ”へようこそ!

釧路空港を起終点とし、2つの国立公園を通り、東北海道をまわるルート



### ■ ルートの特徴

原始の森、湿原のパノラマ、険しい山岳コース、牧草地、変化に富んだロケーション、野生動物たちとの出会い。阿寒、屈斜路、摩周、釧路湿原を通る道東を満喫できるルート。

◇起点:釧路空港 終点:釧路空港

◇延長:約310km





# モデルルートの詳細

## トカプチ400

### 山、平野、海へ。 雄大な十勝を感じるサイクリングルート

帯広市を起終点とし、北十勝と南十勝を「8の字」で結んだ  
延長約400kmのロングライドのサイクリングルート



#### ■ ルートの特徴

帯広市を起終点とし、北は三国峠までの山岳ルート、南は日高山脈や  
広大な平野を望むパノラマルートなど多様な景色を楽しめるルート。

◇起点: JR帯広駅 終点: JR帯広駅

◇延長: 約400km



凡例	
<span style="color: blue;">—</span>	基幹ルート
<span style="color: green;">—</span>	自転車専用道路
<span style="color: yellow;">—</span>	一般国道
<span style="color: grey;">—</span>	主要道路・一般道道
	道の駅
	空港
	JR駅



# モデルルートの詳細

## 富良野・占冠ルート

都会では味わえない!?  
『田園休暇』を体感出来るルート!!

富良野市を起点とし南富良野町を經由、  
占冠村の3市町村にまたがる全長約180kmのサイクリングルート



### ルートの特徴

**ルート1:** かなやま湖畔コース  
樹海峠などの難所があるが、湖畔の  
美しい風景を楽しむことができるルート。

- ◇起終点: JR富良野駅
- ◇延長: 約90km

**ルート2:** トマム雲海に出会うコース  
穏やかな道が続き、緑に囲まれた  
サイクリングを楽しむことができるルート。

- ◇起終点: 国道237号・道道465号交点
- ◇延長: 約90km

